

# 富士川

12月号 昭和45年12月18日 No. 125 富士川町役場発行  
富士川町岩淵121番地  
60 1 1 1 1

## 町の人口

45.12.1現在	15,268人
男	7,530人
女	7,738人
世帯数	3,469世帯
(面積)	31.09km <sup>2</sup>

印刷/望月印刷所 T800304

## 中学改築と役場庁舎

### 二問題にどう取組むか

現在の役場庁舎は、明治四十四年に建てられたもので六十年経過ご承知のように老朽化甚しく、町民の憩いの場もなくサービスマン

著しく欠き、会場も不足するばかりか、最近漏電事故もあり、配線は全改良を必要としている状況で、重要書類を考えるとき危険性を痛感させられています。

町当局は、ことし町議会三月定例会に役場庁舎建設を提案、議会もこれを了承可決しています。

以後、議会は庁舎建設特別委員会(太田義雄委員長)を構成し、これを主体に調査研究をすすめてきました。

十二月にはいり、町当局と特別委員会とでまとめた計画案を四日と七日に町議会全員協議会にはかりましたところ、中学改築問題との調整のため、広く町民各層の意見を参照して再度検討することとなりました。

町内の教育保育施設については一幼・二幼・一小・二小各教育施設

設、松千代・岩淵・本通各保育施設はすべて新設されており、中川

### 中学改築 まず一中から

## 町民文化センター風 庁舎

中学統合問題が今後の課題として検討されるとしても、一中PTA(望月貞彦会長)は、現実に対応した対策を要望しており、十二月十七日、一中・一小PTA役員は第一中学校に町当局、町教育委員会、議会代表を招き、一中改築問題を協議、真剣な議論の結果、三年前から要望していた体育館建設から着手されるということになりました。

なお、校舎各部、室内、付属施設を補修し、生徒がなるべく快適に学校生活できるように配慮されます。庁舎についても上記のような理

町長は、中学校舎全面改築をもつて、一連の教育施設の完成と考え公約してきたもので、一・二小完成時点の際にも町民皆さんに「教育施設最終しかも最大の課題として、一環完備された教育行政が行なわれることのできるよう、将来を見通し、慎重に検討を重ね、近代の中学校舎改築実現のため全力をあげます」と決意を表明してい

ます。町当局は、四十三年、町議会にはかり、まず一中校舎改築を具体化させるため財政計画を調整しましたが、校舎が経過二十年のため老朽校舎としての国庫補助対象となり得ず、その他の問題点とあわせて大きな壁となって改築をはばみました。

以後も、町当局は積極的に各関係上級機関に陳情運動を展開する等努力し続けています。

今年度にはいり、一・二中統合による新校舎建設の構想が各方面から検討されることになりましたがこれには次の諸点が考えられます①多額な国庫補助により財源確保の見通しが明るい。

②教育環境の適地に建設可能。  
③将来、郷土富士川町発展に参画する町民子弟が、三年間、友人として学び交際の意義の大きき。

④一・二中敷地が利用できる。  
⑤広大な適地があるか。  
⑥生徒の通学に支障はないか。

⑦将来、松野地区の人口が増加した場合どうか。  
教育委員会を主体にした教育懇談会が、一・二中PTAの意向を参照にこの諸点を検討してきていますが、これも種々の障害が横たわっています。

# 中川町長

## フッ素公害で

### 日軽に六項目要望

日本軽金属(株)浦原工場から排出されるフッ素の農業被害を調査中の県公害課は、十二月八日、工場周辺のミカンの葉から最高五七・一PPM、三・五キロ離れた当町地域内でも三六五PPMという大量のフッ素を検出したことを公表しました。

昨年、静岡葉大の山本文夫教授に検査を依頼していた調査結果によるもので、フッ素公害のない地域に比べて実に七倍から十倍近い数値で、半徑十キロ程度は要注意地域といわれます。

大気中のフッ素についても、富士川第一小学校屋上の測定器は、最高〇・〇九二PPMを検出、人体にもなんらかの影響が心配されます。

中川町長はこれに先だち十一月十三日、日軽浦原工場を訪問、六項目の要望書を提出して回答を求めるとともに、同社と公害防止協定を結んで、工場側に公害防止を徹底させる考えを表明しました。同社は、四十三年から四十七年までの五カ年計画で十八億を投じ

を行なうこと。

③ TCA装置(フッ素ガスのろ過装置)が完全効率を発揮しているかどうか。

④ 会社において測定するFガスのデーターを常時公開すること。

⑤ 町の指定する者の常時工場内への立入調査を認めること。

⑥ Fガス拡散状況と被害調査のための施設を増加すること。

以上の点について、具体的計画を策定し、公害防止協定を締結すること。

当町西部地区のミカン園は、三



写真 小山地区みかん調査  
新葉中途被害の現況

- を早めよと次の六項目を強く申し入れました。
- ① 公害防除施設の計画年次を短縮すること。
- ② B1~4の旧施設建屋を新築改善し、あわせて建屋より漏れるFガスの建屋洗滌(全棟)施設

## フッ素排出基準

現在、フッ素については、摂取許容基準、環境基準はもちろん、排出基準も決められていず、大気汚染防止法で特定有害物質として事故時の措置が決められているだけです。

厚生省は、この点、今国会に提出中の同法改正案が成立した場合は、同法による政令でフッ素の排出基準を決める方針であり、近々実現することでしょう。

## フッ素は人体に

### どんな影響を与えるか

まだ研究が十分に進んでいないのが現状。

これまでのところ、長期間、高濃度の大气や食物摂取による慢性毒性として、歯の表面が白くマダラになる「斑状歯」、骨と筋肉の付着部が病変して動かなくなる「骨硬化症」「発育障害」「貧血」が、

あげられています。

清水税務署管内

## 第15回納税表彰

### 川口氏ほか受彰

清水税務署管内の第十五回納税表彰式が十一月十二日、清水市中央公民館で開催され、町関係では次の方が表彰されました。

この表彰式は、毎年、清水税務署、清水市、清水地方税務推進協議会の共済で行なわれるものです(敬称略)

■清水地方税務推進協議会長表彰  
納税功労者 川口丑夫(本一)

〃〃 齋藤常正(相生)

また、静岡財務事務所管内の静岡県納税表彰式が十一月十四日静岡岡県婦人会館で開催、次の方が表彰されました。

■静岡財務事務所長表彰

優良団体 相生町納税貯蓄組合  
納税功労者 塩坂 博

(元本通四)

## 町議会 十二月定例会

### 二十二日に開会

町議会十二月定例会は今年十二月二日に開会される予定です。

44年度的一般会計、国民健康保

険、水道企業等の会計決算の認定を中心に諸案件が審議されます。(詳細一月号で発表)

# 総合的に公害対処

## 町公害連絡協設置

富士川町公害対策連絡協議会設立総会が十二月十四日午後一時、役場会議室で開かれました。

町において発生または発生しようとする各種公害に対処し、関係機関団体等と密接な連絡をはかり一本化した方針のもとに必要な調査研究を行ない、公害防止対策をすすめるため設置されたもので、次の事業を行ないます。

- ①大気汚染(フッ素や亜硫酸ガス等) 水質汚染・悪臭・その他による人体ならびに動物・植物の被害に対しての調査研究
- ②公害発生源に対する調査研究
- ③公害防止対策についての推進
- ④その他本会の目的を達成するために必要な事業

なおこの協議会の委員は関係各機関団体の代表者で37名。

### 委員

(敬称略)

- 中川国兵(町長) 高岡文夫(助役) 望月亀歳(議長) 芦川守正(副議長) 高岡太郎 桐山良雄 望月好勤 鈴木富治 佐野義策 市川政男 斎藤六郎 太田竹蔵 箕武司 渡辺清 古川喜代松 渡辺

忠作・坪内佐吉・太田義雄・斎藤昌巳(以上議員) 芦川利一・渡辺好夫(農業委員会代表) 浦田富雄(農協組合長代表) 斎藤常正(農協公害対策委員長) 塩坂喜久雄(煙害処理委員西部実行組合代表)

渡辺久雄(同中部代表) 池谷孝太郎(同中部代表) 望月峯男・佐野正豊(部農会代表) 若月吉太郎(区長会長) 浅場峯一・法月寿作(同副会長) 田辺次郎(医師会代表) 石川均・神野茂(北および南松野山砂利対策委員代表)

- 役員
- 会長 中川国兵 (敬称略)
- 副会長 望月亀歳 議長
- 常任委員 芦川守正・太田義雄 齋藤昌巳・芦川利一・池谷孝太郎 若月吉太郎・田辺次郎・望月一郎 石川均

なお、協議会には各種公害の専門部会が五つ設置されました。

専門部会は、協議会委員と関係機関・団体の役職員から選出されたとて構成され、それぞれの部

会に部会長一名、副部会長二名が選出されます。(専門部会人事については次号でお知らせします)

## 郡三町議員大会

### 決議事項を近く陳情



写真 郡議員大会であいさつする望月郡議長会長。左端は中川町長

第21回庵原郡三町議会議員大会は、十一月十八日午前九時半、当町老人福祉センターで挙行されました。

望月庵原郡町議会議長会長(富士川町議長)が恒例により大会議長に選出され、大会議事を運営。次の決議を可決した後、当時の高岡・市川・太田(義)三議員および由比町小牧議長の意見発表に続き、井上庵原郡町会長(蒲原町

長)と県町村議会議長会金指平吉会長の来賓祝辞をもって閉会しました。

町区長会は、十二月十一日役場会議室で開かれました。

一県道富士宮・由比線の早期開きくとこれにつながる農林道の整備を期す。  
二国道一号線富士・由比バイパス四車線の早期実現と新富士川橋無料開放を期す。  
三東名高速道路富士川サービスエ

⑧知事を囲む懇談会開催について協議。

ヤへの乗り入れ道建設を期す。四諸公害排除を期す。

成人の日を機会に 手続きを

来春一月十五日は成人の日です。国民年金制度では、これら成人に達した人たちの内、厚生年金や共済組合など職場の年金制度に加入していない人(学生を除く)は国民年金に加入するよう義務づけられています。

年末の区長会 開 かる

酒運転の防止 ③国調結果 ④消防団後援会 ⑤県知事選挙 ⑥役場年末年始の事務(12月28日終了) 1月4日開始 ⑦庁舎および消防庁舎建築

まだ加入していない方は、この機会に印鑑をもって役場の窓口へお出でください。(役場年金係)

# 交通事故

## 最悪の状態へ

### 社会の敵・飲酒運転

県下の交通事故はことしも急増の1途をたどり、十一月八日現在死者六百一人、負傷者は、実に三万一千六百六十四人に達しています。

次の諸点をぜひ厳守してください。

#### 運転者

- ① 無免許では運転しない。
- ② 飲酒運転はしない。させない。
- ③ スピードの出し過ぎや無理な追越はしない。
- ④ 信号は正しく守る。
- ⑤ 一時停止を励行する。

#### 歩行者

- ① 道路の右側を歩く。
  - ② 横断は安全を確認のうえ渡る。
  - ③ 道路への飛び出しはしない。
  - ④ 横断歩道や歩道橋を利用する。
- なお、当町では、年末・年初に際し、飲酒の機会が多くなるころから、次の「交通安全家庭の誓い」を全世帯に配付、壁などには貼っていただき、趣旨の徹底に協力を求めるとともにハガキも三世帯に一枚の割で出す等、町内から飲酒運転を追放するため、積極的に

運動します。

① 車を運転して帰る訪問客には、酒類を絶対出さない。

② 家族が飲酒する会合に行くときは、または飲酒後に外出するときは車を運転させない。

③ 家族が車を運転して出かける際には、飲酒運転をしないよう、「ひと声」呼びかける。

## 建設すすむ

### 教職員住宅

町の教職員住宅は、来春一月末完成を目標に鋭音高く建設中です。着工は九月一日。

若月組(若月吉太郎社長)により行なわれています。

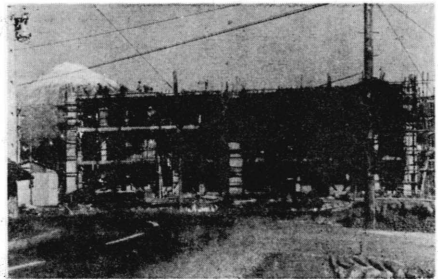
総工費約三千万円、財源は総て全国教職員共済組合の資金で、20年賦償還で町財産になります。

町内には雑居16もあり、近代的生活を築くことができます。この建物は教職員を対象に建てられたものです。

この教職員住宅は、松野地区の方にあり、美しい富士山を真正面に仰ぐことのできる場所です。

このほか、富士川地区にも四世帯の一般向住宅建設が計画されています。

写真 富士を背景に完成近づく教職員住宅



### 農業者に

#### 厚生年金なみの

#### 年金

農業者の年金制度は、第63回国会で農業者年金基金法として成立。明年一月一日から実施することになりました。

農業者年金事業は、農業者の老後生活の安定と農業経営の近代化などの農政目的を推進する性格をもっています。

#### 農業者年金

○当然加入者：農業経営主である国民年金被保険者で、五反歩以上の農地等の名義人です。(ただし、大正五年一月一日以前に生まれた人は除かれます)

○任意加入者：国民年金被保険者であって、当然加入者に準ずる農業経営主、農業生産法人の構成員あるいは当然加入者の後継者などです。

#### ○年金給付の種類

① 経営移譲年金 ② 農業者老令年金 ③ 脱一時金 ④ 死亡一時金

#### 離農給付金

農業者年金事業の一つとして、右の年金のほか、一時的に(昭和四十五年五月から十年間に限定)

離農給付金支給業務があります。○給付対象の要件：二十歳以上の農業者年金被保険者でない農業経営主などが第三者に経営を移譲した場合。

○支給金額：経営を移譲した人の年令、農地等の面積により三十五万円と十五万円に分かれています。支給金は全額国庫負担(詳細については、町農業委員会事務局 役場内81-111-1へ)

### 工業統計

#### 調査始まる

通商産業省では、毎年十二月三十一日現在で製造業を営む全事業を対象に工業統計調査を実施しています。

この調査結果は、国および地方公共団体の行政資料としてあるいは民間企業の実務上の参考資料として広く利用されています。

ことしも調査時期が迫り、すでに調査員は準備調査を行なっております。

来年そうそうに本調査が始まりますが、調査員がお伺いした折にはよろしくご協力ください。

#### 当町の調査員

- (敬称略)
- 松野地区 小沢勝巳
- 木島・岩瀬・中一部 太田国弘
- 中郷地区 村野幸三

# 第一回 三・四歳児

## 絵画展・児童館で

町立宇多利児童館主催の第一回三・四歳児絵画展が十一月四日から十一月三十日まで同館で開催されました。

町立第一・第二幼稚園・さくら台幼稚園・本通・岩淵・松千代の三保育園の園児の「運動会」をテーマにした作品中入選作展示会。表彰式は、十一月七日午後二時同館で中川町長、望月議長等の出席のもと開かれ次の園児が表彰されました。なお、審査員は渡辺清先生。(敬称略)

- 三歳児 館長賞 浦田彰子(さくら台)
- 特選 増田英二郎(〃)
- 〃 浦田悦子(〃)
- 〃 吉田正史(松千代)
- 入選 依田安弘(本通り)
- 〃 佐野久美子(〃)
- 〃 天野裕介(〃)
- 〃 篠田秀子(岩淵)
- 〃 小川由利(松千代)
- 〃 市川良重(〃)
- 〃 宮崎洋一(さくら台)
- 四歳児 館長賞 鶴沢弘子(一幼)

特選 川原美文(本通り)

〃 長谷川博之(岩淵)

〃 小林敦泰(松千代)

〃 萩野英子(一幼)

〃 望月敏行(二幼)

〃 加藤智子(さくら台)

〃 大石久信(〃)

入選 芦沢恵太・野村耕一

〃 渋谷秀人・金井督之

〃 武井邦泰・藤沢幹男

〃 青山智一・小林靖彦

〃 星野育子(以上岩淵)

〃 望月歩・小川佳文(以上二幼)

〃 桜井恵子・中村修也

〃 浦田ひろみ・秋庭敬

〃 宮下利子(さくら台)

努力賞 第一幼稚園

〃 一〇一名合作品

### 国調結果

#### 前回より六七七人増

十月一日現在をもって実施された昭和45年の国勢調査の結果、概数が発表されました。

総人口 一万四千九百五十九人

合計 男 七三三〇 女 七六二九

富士川地区 一〇四八六 五二三四 二一九六

松野地区 四四七三 二一九六 二二七七

前回(四十年)は一四二八二で

六七七人増加しています。

世帯数は三九六戸の増

世帯数は三四五四戸(富士川二

四七八戸・松野九七六戸)で前回

に比べ三九六戸の増。

両地区での人口・世帯を前回と

比べますと、富士川地区は三二六

人・二四七戸、松野地区では三六

一人・一四九戸と増えています。

農業者は一七六人減少

就業者の産業分類によりますと

製造業三一一人(41%) 農業一

一五三人(15%) 卸小売業一一二

五人(15%) サービス業七二四人

(10%) 建設業六三三人(8%)

運輸通信業四〇六人(6%)等の

構成になっております。

総就業者数は七五五一人(男四

七四〇人、女二八一一人)で前回

より八七九人の増加で製造業の六

六五人、卸小売業二四九人、サー

ビス業一一八人の増が目立ちます

反面、農業は一七六人と大幅に減

少して注目されます。

なお、国調と人口登録人口は調

査と受付の事情で違ってきます。

### 国勢調査員

#### 三人に感謝状

十一月二十四日午後四時、町老人福祉センターで、国勢調査員(六一名)の反省記念会が開かれまし

た。

中川町長は全調査員に感謝のあ

いさつを述べ、とくに次の三人の

方に優良調査員として記念品を添

## 宅地として誕生

### 大楽窪

このほど、駿河工業用水浄水場建設にともなって、大楽窪地先に配水池(六千トン)の建設工事が行なわれています。

これに使用する専用道路は、幅員六メートル、12%の勾配をもって完成が近づいています。

この道路のもつ意味は、これが完成された暁、大楽窪付近一・五町歩が開発され、住宅街として大きく変わるといふことです。

掘り削られた土砂七万立方は、三町歩の町有地に埋め込まれ、来年度、公営住宅八十戸の建設が予定されています。

現地へ行きますと、住宅地として適地であると実感されます。

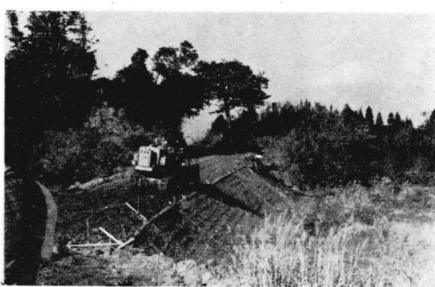


写真 道路開発の進む大楽窪

え感謝状を贈呈しました。(敬称略)

深沢好雄 (旭町)

若月正敏 (本四)

村松文吾 (東一)

町公衆電話は三分制になりました。ご協力ください。

富士川電報電話局

### 第三団・野田山で

## 野営訓練実施

ボーイスカウト

本年三月、中之郷（川坂・堺町新町・新町四十九・本通一・三四丁目）に発団したボーイスカウト富士川第三団（深沢尊明隊長）は、皆さんの絶大な協力と団委員（11名）の熱意ある行動によって、着々と訓練および奉仕活動を続け、七月には四十余名のカブスカウト（年少隊・安田善彦隊長）も組織され、来年八月の世界ジャンボリー参加を目ざし、団員張切っております。

ボーイスカウトは、徳性づくり、知能づくり、健康づくり、奉仕の実践を鍵として教育訓練をやっているわけですが、その一例として十月二十八日、野田山山頂の一泊野営訓練かたがたハイキングをする人たちのために山頂に水道ポンプを新しく整備し、水の便を良くする一方、ベンチを作り、川坂および新町四十九よりの登山路に道路標識を立て、この自然を町民皆さんが大いに利用できるように奉仕活動をしました。

また、カブスカウトは、自発的に歩道橋の清掃を実行しております。



写真 野田山頂に集結した。第三団の委員、スカウトの皆さん

本州製紙）および第二団（南松野）があり、それぞれ第三団の先輩として、より立派な活動をしております。

（ボーイスカウト第三団委員長 金指恭三記）

歳末助け合い

昨年は四十万円

町内困窮世帯へ

現在、区長会、婦人会、仏教会などの手により歳末助け合い募金が行なわれており、町民皆さんの協力により成果をあげつつあります。

す。

この支援金は全額町社会福祉協議会へ納められ、町内の生活保護世帯や低所得生活困窮世帯および町出身の老人・児童各施設入所者へ、明るい正月を迎えていただくよう贈られます。

参考までに、昨年は三十九万九千四百四十四円の現金、みかん四一五キロをそれぞれへ配付、皆さんの善意に感謝が寄せられています。（寄金明細次号で発表）

### 善意銀行寄託

（9月16日～12月4日）

## 第4回太田利三展

### 町立図書館で

第4回「太田利三」個展が当町図書館で、十二月八日から十二月十四日まで開催されました。

昭和四十四年五月、東京新宿カド一画廊で第一回個展を開催、同年十二月、静岡市県民会館、ことし六月には再び東京カド一画廊で第三回の個展を開催、その後も精進につぐ精進をもって鋭意画業に専念していますが、今回は、本人の希望と周囲の支援者の「一回は

ご愛読の「一畝二歩」は、作者（池谷社会教育主事）の家庭の不幸により今月休載

- 雑布四〇〇枚 幸和会…幸町老
- 二四一一円 福寿会…本一老
- 雑布七二枚 //
- 一円玉三〇〇円 鮎川伸代…東二
- 一万円 天野武雄…東二
- 六七二円 白寿会…宮町老
- 雑布四七枚 //
- 五万円 続、新一…本一
- 一円玉四三三五円 木実会…木島老
- 二九八〇円 町商工会青年部
- 二〇〇〇〇 佐野竹道三十坂
- 三〇〇〇〇 山本梅子…東二
- 一〇〇〇〇〇 深沢静子…大北

### 役場春秋二回

#### 連続優勝

松野地区商工会主催の第5回ソフトボール大会は十一月二十二日二中グラウンドで午前九時から開会役場チームが春秋二回連続優勝しました。

準優勝は東静砂利Aチーム。アーバーエーカーA・B、ほてい伍詰A・B、佐野製作所A・B役場、学校、松野砂利、サーピス店会、東静砂利A・Bの十二チームが参加。

# 新成人

## 二八三人

来春一月十五日、町の成人式が行なわれます。

最終的には、来春早々の各区長さんの確認をまって決定しますが現在(12月10日現)新成人は二八三人(男一三九・女一四四)となっています。

昭和25年4月2日〜26年4月1日までの方。

式は十時。終了後記念撮影をします。

なお、町体育協会(尾崎初男会長)の陸上部は、恒例の「祝成人駅伝大会」を行ないます。「二十歳に思う」の感想文も

の日朗読、新しい決意を誓います

### 創炎 学級大会に出演

45年度県青年学級等研究発表中

部大会(庵原地区・掛川地区)は、会場を蒲原町文化センターに運び、きたる三月七日に開催されます。

意見・研究・芸能各発表、作品・技能展を行ないます。

当町では芸能発表に創炎出演。

青年団

### 新聞 一月末発行

#### 原稿募集 中

富士川町連合青年団(池田二郎団長)は、十一月八日にソフトボール大会を開催、団員の親睦を深

めつつ十二月二十六日のクリスマス

の集いを迎えようとしています

ことし一年間をふりかえってみますと、本団活動、サークル活動

青年会議と幅広く活発で、大きな成果をあげたといえましょう。

一月末には、青年団の機関紙「青年ふじかわ」を発行する予定で原稿を募集しています。

詳細問い合わせは、各支部長または事務局へ。

青年

### バレーボールリーグ戦

次回は一月二十日

青年バレーボールリーグ戦(広報富士川一二二号に詳報)は、十一月二十日、ことし最後の試合を

終りました。

11月5日 北松野2対1相生町

東町2対0丸十鉄工

11月20日 丸十鉄工2対1室野

新町2対1南松野

### 「20歳の香に思う」

新成人者対象に感想文募集  
枚数制限なし 年内必着  
町教育委員会

次回予定

1月20日 サインはV対室野

2月5日 北松野 对新町

相生町対サインはV

北松野 対室野

### 青年団支部紹介

#### 室野支部

青年団室野支部(望月富士夫支部長・20歳・会社員)は、団員数17名。

青年団サークル活動に積極的に参加し、青春時代を悔いしないものにしようと努力しています。

望月支部長の話「自分の入団当時と比べ、団員数が半減してしま

って支部活動は残念ですがあまり

ふるわぬ状況です。しかし、なるべく支部行事を残していきたい、本団との話し合いを通じ、本団活動にも積極的に参加したいと考えています」

### ▼富士川短歌会▲

## 十一月詠草

天野 寛選

鈴木 みつる

五十四年囃むに話すに使ひ来し  
抜かれし前園見つめつつをり

(評) 園のかけてゆくことはわびしい限りである。まことに堅実な表現で感動がこもっている。

長橋 安子

夕映は空をむらさきに染めぬし  
がたちまちにして夜ならむとす

田村 タカ

秋深く声もとだえしきりぎりす  
籠より出して庭に放ちぬ

宇佐美忠吉

木犀の香り豊かな窓の風庭のこ  
ほろき秋のたそがれ

榎根 チヨ

コスモスが畑一めんに咲きそ  
ろふ強くやさしく秋風うけて

(評) 対象は明確だがコスモスの説明に終始した。とりわけ第四句の主観は同感できない。

## 星の子 太田 利三



45.9.20~10.19

# 人の流れ

(敬称略)

## 祝 誕 生

区名	氏 名	保護者	続柄
宮町	柴 合子	一恵	長女
大北町	吉野智子	日出夫三女	
宮町	金井幹夫	恒夫	二男
小山	伊藤 忍	末男	二男
相生町	望月真佐士	司一	長男
宮町	赤堀悦子	二一	長女
四十九	森中重之	俊雄	長男
舟山町	青柳美奈	忠義	長女
大北町	望月貞広	義昭	長男
宮町	菅谷 緑	芳男	長女
旭町	田中克彦	光夫	長男
宮町	森山記代子	国臣	長女
南町	影島千津子	克美	長女
小池	伊藤文乃	雄之	長女
上町	望月史子	孝宣	長女
木島	芦川聡子	豊彦	二女
新町	伊東泰弘	勇	二男
宮町	小森静香	好章	三女
清水町	山中美貴	公一	長女
川坂	簗 威頼	孝	三男
新町	大田雅康	久雄	長男
川坂	若月久美	一雄	三女
本通四	花田和美	由亘	長女

## 祝 結 婚

区名	新 郎	新 婦	旧 姓
大北町	蓮池弘三	恵子	下村
南町	桜井次男	裕子	川西
清水町	加藤輝夫	浄子	富永
坂下	野原 勇	一代	勝呂

## 編 集 覚 書

「人間らしく生きよう」「美しい自然を回復しよう」七〇年代の課題。翌四十六年はその第一歩。広報富士川81一一一 斎藤 博

# 鬼岩の作

氏 車 十

寒鯛の旨い季節にはいった。弥作は、由比の漁師から直接買った新鮮なヤツを刺身におろし大皿に盛って一座の真中に据えた。酒も熱燗につき、賑やかな宴が始まった。

今夜のこの弥作の散財には事情があった。



甲州の青柳河岸から廻米二十九俵を積み込み、相棒三人と富士川を川下げしたのだが、十島の通称鬼岩で、舵取夫の操船間違ひからすんでに蒲米を出すところだったが、弥作の功妙な竿捌きに救われる結果となったのである。これは貸銭減の影響を与えなかったばかりでなく、弥作にとって今まで訪れてこなかった機会、腕の見せ場を提供してくれたものである。

舵取夫は、悪びれず自分の失敗談で座を笑わせている。この男は腕のいい舟人である。

刺身をねだつてはじりよつてきた子どもの一人をあぐらに抱いた弥作は、姉の方を傍らに座らせ入れでやつた。充足感とともに目頭があつた。日頃の努力があつたといえはそれまでだが、今夜のこの嬉しさは言いようがない。「弥作、これで主(ぬし)の評判も高まり、収入(みいり)も増えよう。けどな、人間は生身じゃ

岸辺に沿って、風のあるときは帆を張り、無風のときは船頭に一人立って竿を使い、他の三人の舟人は引綱を肩に岸の岩場がつま先立って力一杯船を進めていく。岩場から岩場へはまるで猿の巧妙さを見たか。いよいよ足場が切れ深淵にさしかかると船に飛び移り長竿を使って越えていく。

鬼岩の頭が川中に見えた。遙かに離れており、しぶきをかぶつて流の中を矢のように突走った。四人の男と川の戦いが始まった。短かく鋭い警告の声、大きく応ずる声、ここぞ舟人の世界なのだ。弥作は、十島付近まで近づいたとき、ふと不安が胸のなかをよぎるのを感じた。

いつも立派な操船ができるなあ限らねえ。あくまでも比較して話しじゃあ……。今日のこの主(ぬし)がのように、失態があつた。ちやつたつて、評判が落ちねえことが見事じゃ。常日頃の心がけが大切なわけじゃ。」

駈付の舟人の一人が、酔の回つた顔付で、しかし仕事の核心をついて話した。

弥作は深くうなずいた。

「やあーいっ弥作やあー、あいつつてけやあ、わははは……」背後からの舵取夫の豪快な笑い、目前に迫つた鬼面を見ると、柔和に迎えるような気がした。

弥作はいまままで無かつた自信をもって竿を操つた。